

令和2年度 授業改善推進プラン 4年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価	
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話の中心に気を付けて聞き、筋道を立てて話すことが定着していない。 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 話をしっかり聞く姿勢を普段から心掛けられるように習慣づけていく。 複数の叙述を結び付けて具体的に想像することを習慣付けていく。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色について考える力、調べたことや考えたことを表現することがまだ定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的事象を列挙して、まとめることを授業の中で、繰り返し行い、定着を図る。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用し、自分の考えを深めたり広げたりすることに課題がある。 学習したこと習熟に個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を復習する機会をもち、自分の考えを既習事項を使って表現し、発表検討での話し合いを充実させる。 算数的活動を通して、自分の考えをもてるようにする。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程において、自然の事象・現象の差異点や共通点に気付いたり、比較したりすることがまだ定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもって追究する活動を通して性質等の違いを比較する機会をつくり、事象を比較して見る見方・考え方を習慣付けていく。 		
生活				
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動に意欲的に取り組む児童が多い。一方で、基礎的・基本的な音楽表現の技能を身に付けさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽やゲームに合わせて体を動かすなど、拍の流れを体感したり音程感覚を身に付けたりする平易な活動を取り入れる。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 手順や技法など細かいところに注意を払いながら進めることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ見通しをもたせて、自分のイメージをふくらませることができるよう、導入の入り方の工夫と、友だちの工夫を自分で見て広げていくような授業展開にする。 		
家庭				
体育	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な体力がある児童が多い。 友達の上手なところを見つけたり、教え合って技能を高めたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用して運動技能のポイントやアドバイスの視点を明記する。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 英語に慣れ親しむことができていない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌をはじめ、児童が取組やすい活動を意図的に取り入れ、学習に前向きに臨めるようにする。 		